

メレーテ・ソートランド博士講演会 & シンポジウム

～ノルウェーにおける自然環境を活かした幼児教育について～

ノルウェーの幼稚園教諭養成に関する国家指針の作成にも携わった経歴を持っているソートランド博士をお招きし、我が国ではあまり知られていないノルウェーにおける多様な幼児教育・保育の内容や展開についてお話いただきます。【通訳付き】

講師：メレーテ・ソートランド博士

日時：2016年9月22日（木）

13時00分～16時15分

場所：創思館 カンファレンスルーム

参加資格：応用人間科学研究科 院生
応用人間科学研究科 教職員
その他、学内外の事前申込者

（幼稚園・保育園関係者等歓迎いたします）



講師略歴

メレーテ・ソートランド PhD (Merete Økland Sortland)
1969年生まれ。ノルウェー、ストード/ハウゲスン大学准教授。

ローガン大学にて技術環境及び水産養殖学を学んだのち、ヘリオット・ワット大学(英・スコットランド)にて資源開発・保護学修士を取得(1992-1993)。帰国後、ストード高等学校の職業科で教鞭をとる傍ら、ベルゲン大学で教育学を学び(1995-1997)、1997年よりスタヴァンゲル大学講師。2000年より現職。2002年、PhDを取得(「アカパンカビの体内時計における環境因子の影響」・オールボー大学(デンマーク))。

ストード/ハウゲスン大学では、2000年より教員養成、2003年より保育者養成に携わり、物理学を教えている。これまでに、Nordplus Project(北欧閣僚会議による教育研究支援プログラム)により、幼稚園における自然科学を基盤とした教育カリキュラム開発を手がけたほか、2009年にはノルウェーにおける自然科学分野の教員養成指針の作成、及び2011年には幼稚園教諭養成指針の作成に携わっている。

講演会プログラム

13:00-14:00

ソートランド博士 講演

14:15-15:15

シンポジウム【幼児期からの教育の重要性(仮)】
シンポジスト

名古屋：和佐田 強

学校法人光和学園 瀬戸幼稚園園長

大阪：鄭 平陽

児童養護施設 暹学園指導員

長野：山口 美和

長野県短期大学准教授

コメンテーター メレーテ・ソートランド博士

(ストード/ハウゲスン大学准教授)

通訳 上坂 裕子

(ストード/ハウゲスン大学准教授)

司会 増田 梨花

(応用人間科学研究科教授・日本自然保育学会会員)

15:15-16:15

交流会

準備の都合上、参加希望の方はメールでお申込みください。メール件名【メレーテ・ソートランド博士講演会申込】

※応用人間科学研究科 院生の申込の場合

メール本文には学生証番号・氏名を記載してください。

※学外者のお申込の場合

お勤め先など所属先・氏名・お電話番号・

メールアドレスをメール本文にご記載いただき、下記メールアドレスへお申込をお願いいたします。

kitagw-a@st.ritsumei.ac.jp <申込締切9月6日(火)>

※申込受付完了のメールを返信いたしますので、締切を過ぎても申込完了のメールが届かない場合は1度お問い合わせください。

【お問い合わせ】

立命館大学 衣笠独立研究科事務室

TEL:075-465-8375 / FAX:075-465-8364 (月～金)

主催：立命館大学大学院応用人間科学研究科